

事務事業 No./名 称	■サービス部門 子育て-12 認可外保育施設助成事業									
	□支援部門									
主管課	保育課					関連課				
分野名	健康福祉									
目標 (目標値)	地域の子育て支援を行う。 待機児童0人									
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考					
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日(住民基本台帳) ・対象者数=各年4月1日現在 入所児童数					
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
	事業の対象者数	57人	56人	109人						
運営資源 状 況	決算値(千円)	29,368	24,961	70,510						
	(国・県)	7,176	6,090	9,275						
	(負担金等)	0								
	(一般財源)	22,192	18,871	61,235						
	人員配置数	1.0人	1.0人	1.0人						
	人件費(千円)	8,123	8,713	8,689						
	協働の パートナー									
	事務事業 運営経費	総事業費(千円)	37,491	33,674						
市民1人当 りの経費(円)	212	190	447							
対象者1人 当りの経費(円)	657,737	601,321	844,009							
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒									
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
待機児童数(各年度4月1日現在・ 私立保育園分)	◎	目標値	10人	5人	5人	5人	0人			
実績値		26人	28人	21人	25人					

◎目標を達成 ○目標に向かって前進
△横ばい ×後退

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止									
認可外保育施設助成事業	29,368千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	☐ A	☒ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	・認定保育施設等に入所している児童の保育に要する経費を助成する。 ・認定保育施設等の施設整備、入所児童の処遇改善に要する経費を助成する。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	待機児童解消を目指し定員増を図っているが、待機児童の解消には至っていない。更なる工夫、取り組みが必要である。		
課題解決のための取組	認定保育施設や届出保育施設に対し、運営支援の充実を図ることにより保育所待機児童の受入れを促し、待機児童対策に取り組んだ。なお、事業の対象者数及び指標となる待機児童数については、これまで各年3月1日現在でとらえていたが、平成24年度から4月1日現在でとらえるべく見直しを行った。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	認定保育施設の運営について、待機児童対策として支援していく。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
	②妥当性 ○				
	③有効性 ○				
	④公平性 ○				
				今後、新システムにより認定保育施設や無認可保育施設の制度上の位置づけがかわることも視野に入れながら運営支援を行い、待機児童の解消を図っていく。	課長等名 保育課長 進藤 勝

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
認可外保育施設 助成事業	70	認定保育施設運営改善費補助金	46,360	28,655	○	○	○	○
	70	届出保育施設運営改善費補助金	1,277	713	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							